

平成29年外国人技能実習制度に係る受入状況調査（概要版）

平成30年6月26日
経済部労働政策局人材育成課

【調査の概要】

1) 趣旨

本道における外国人技能実習生の受入状況を把握することを目的として、平成18年から、監理団体等を対象とした「外国人技能実習制度に係る受入状況調査」を実施しており、この度、平成29年の受入状況を調査結果報告書として取りまとめたもの。

2) 調査対象

協同組合、農協、商工会・商工会議所など団体監理型の監理団体として道内において技能実習生の受入を行っている道内外の団体、及び企業単独型で道内において技能実習生の受入を行っている企業。

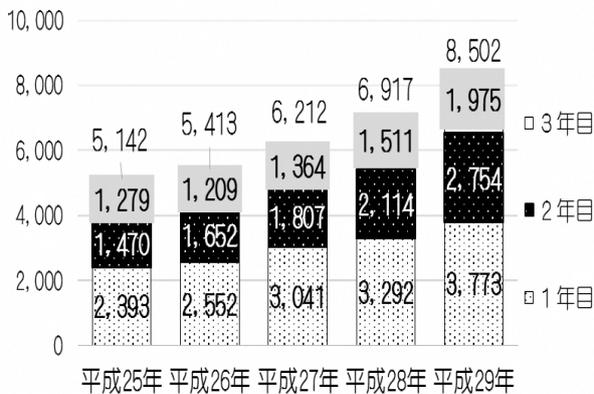
調査票発送団体数：243、回答数：227、うち受入実績のある団体：114

（内訳） 協同組合：80、農協：18、商工会・商工会議所：3、
公益社団・財団法人等：10、企業（企業単独型）：3

【調査結果の概要】

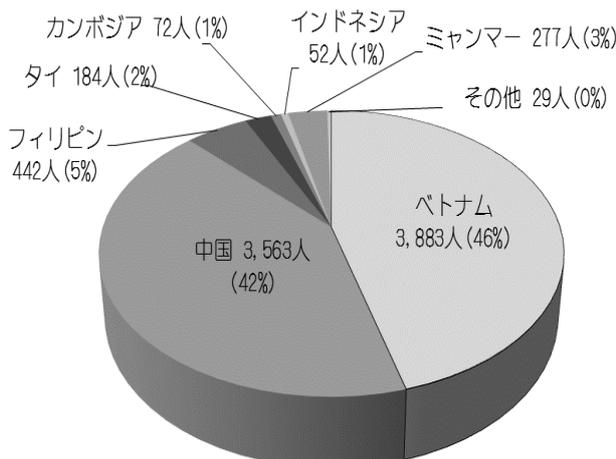
■技能実習生受入数

技能実習生受入数の推移



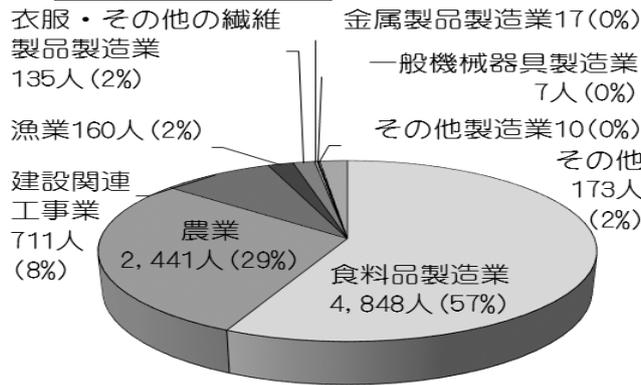
- ・平成29年受入総数 **8,502人**
[対前年 123%、1,585人増]
- 1年目 3,773人
[対前年 115%、481人増]
- 2年目 2,754人
[対前年 130%、640人増]
- 3年目 1,975人
[対前年 131%、464人増]

■国籍別受入数



- ・**ベトナム** **3,883人**
[対前年 147%、1,243人増]
- ・中国 3,563人
[対前年 100%、9人増]
- ・その他 1,056人
[対前年 146%、333人増]

■業種別受入数



・食料品製造	4,848人	[対前年 125%、983人増]
・農業	2,441人	[対前年 113%、286人増]
・建設関連	711人	[対前年 190%、336人増]
・漁業	160人	[対前年 144%、49人増]

■地域別受入数（振興局管内別、上位5地域）

オホーツク	1,403人	[対前年 134%、359人増]
石狩	1,168人	[対前年 169%、478人増]
渡島	994人	[対前年 114%、121人増]
釧路	680人	[対前年 117%、97人増]
根室	669人	[対前年 119%、106人増]

■技能実習生の受入に関する課題

- 技能実習生の高齢化、漢字圏以外の国からの技能実習生の増加等により、日本語能力レベルの低下がみられる。
- 中国からの技能実習生が減少傾向にあり、新たな送出機関や他国の技能実習生の開拓を検討する必要がある。
- 新制度移行に伴う技能実習生受入のための手続負担が増加するとともに、審査期間が長期化している。書類の簡素化、電子化を希望する。
- 監理団体、実習実施者ともに責任者講習を受講しなければならないため、北海道での開催を増やしてほしい。
- 技能実習生の失踪や中途帰国の防止。

■技能実習生と地域社会との共生に向けた取組

- 地域のイベント（花見、盆踊り、成人式、雪まつり等）やボランティア活動（ゴミ拾いやイベントの販売スタッフ等）の情報提供や参加。
- 大学と連携し、日本人学生との交流や、婦人会の協力も得て和服で茶道を行う等、日本文化に触れる機会を提供。
- 日本語検定の合格に向けた個別講習や教材の提供、市役所等が開催する日本語教室の情報提供。
- 入国後の日本語講習の際に、市役所や保健所の協力を得て、地域の防災情報や健康講習を実施。
- 入国後の講習の会場として、市役所の施設を無償提供。
- 市町村や地元警察との意見交換、情報共有。